

海外安全対策情報（令和２年度第３四半期）

１ 社会・治安情勢

パラナ州公安局発表によるクリチバ市の２０１８年の殺人件数は３１７件で、件数、殺人率共に依然として高い数値で推移している。２０１８年クリチバ大都市圏での殺人件数は７６５件、１０万人あたりに換算すると２３．３件、世界保健機構が許容範囲としている殺人件数（１０万人当たり１０件）の２倍強。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１）クリチバ市及び大都市圏では近年、誘拐、ＡＴＭ爆破強盗、携帯電話販売店や薬局店、レストラン及び住居を狙った武装強盗、運転中及び停車中を狙った車両強盗、武装集団による長距離バス及び路線バス内強盗が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、パラナ州クリチバ大都市圏は「十分注意してください」を継続中。
- （２）パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類及び銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪も増加傾向にある。

３ 犯罪事例（１０月～１２月）

- （１）１０月７日（水）午後、クリチバ市クアトロバーハス地区で、３人の女性の遺体が発見された。警察への匿名の通報によって発見され、すべての遺体に銃弾の跡があり、警察は、この３人の遺体はコロンボ地区で発生した２人の女性の失踪に関係している可能性があるともみて捜査している。
- （２）１０月２２日（木）午後、クリチバ市セントロ地区で、３５歳の男性が薬物密売の容疑者として現行犯逮捕された。警察官は、警察犬を使いバー内部にあったリュックサックや他の部屋に隠されていたクラック、コカイン等の麻薬及び武器、拳銃等を見出し押収した。警察の調べによると、容疑者はすでに薬物、人身売買、盗難についていくつかの有罪判決を過去に受けていた。
- （３）１１月３日（水）クリチバ市ルイバルボーザ公園で若い男性がナイフを持った３人に襲われ数回刺された後緊急搬送された。目撃者によると、被害者は身を守るために薬局へ逃げ込んだが、加害者達に追いつかれ施設内で数回刺された。

負傷した男は助けを求めながら公園を横切ったが、力尽き、死亡したと加害者達に思われ攻撃が止んだ。犯人達は逃走中。

(4) 11月6日(金)夜、クリチバ大都市圏サンジョゼドスピニャイス市で、26歳男性が刺殺された。未だ犯人と犯行動機は不明である。救助隊によると、被害者は13から15か所の刺し傷があり、頭蓋骨部分には数回レンガなどで殴られた跡があった。

(5) 11月30日(月)の夜中、約30人の集団がサンタカタリーナ州クリシウマ市にあるブラジル銀行の支店を襲撃した。事件は23時40分頃に始まり、重火器で武装した犯人集団は、10台程の車両により第9軍警察分署を訪れ、一台のトラックを放火した。0時10分頃、班員集団はブラジル銀行支店に到着し爆発物を爆破し、警察の到着を遅らせるために道路を封鎖した。犯人集団は現金を盗み逃走した。逃走中に警察官へ向け発砲し、銀行付近で道路工事をしていた作業員6人を人質として連れ去った。6人の人質のうち3人は現金を車に詰める作業を手伝わさせられたが、2時間後解放された。人質になっていた作業員によると、犯人集団は逃走時、道路に現金をばらまき、さらに「お前達も現金を取れるように50万リアルばらまく」と犯人集団の1人が言っていたとのこと。地元警察によると、約8,000万リアルが盗まれ、道路に約30万リアルがばらまかれていた。さらに、犯人集団は81万リアルが入ったスーツケースを置いていったが、それを運ぼうとしていた4人の市民が逮捕された。早朝、現場には約30kgの爆発物が残されていたが、警察の爆発物処理班によって処理された。12月9日時点で、サンタカタリーナ州、サンパウロ州、リオグランデスール州にて、事件に関与した疑いがある14人が逮捕された。事件で使用された約10台の車両は、ノヴァ・ベネザ市の私有地のトゥモロコシ畑で発見され、うち9台は防弾車であった。事件当時、事件の様子を生放送で伝えていたラジオ局は脅迫電話を受け、生放送を停止した。

(6) 12月14日(月)夜、クリチバ大都市圏カンポラルゴ市のバーで、2台のバイクが止まり、乗っていた4人の男性がバーに発砲する事件が起きた。37歳の男性店主は、少なくとも10発命中し即死した。当時現場にいた52歳男性にも銃弾が命中しており、軽傷として病院へ搬送された。未だに犯人は判明していない。

- (7) 12月20日(日)午後、クリチバ市アラウカリア地区の住宅で発砲事件が発生した。男女2名が死亡し、子供を含む2人が重軽傷を負った。犯行当時、現場ではバーベキューが行われおり、参加していた中の男性1名が標的だったとされ、その場で死亡が確認された。目撃者によると、2名の犯人が車から出て所持していた銃で発砲し、事を落ち着かせようとしていた家主の女性と標的だった男性を殺害した。犯人は逃走中で殺害動機も不明である。
- (8) 12月26日(土)夜、クリチバ市セントロ地区にあるクリチバショッピングセンターにあるファーストフード店で強盗事件が発生した。閉店後、銃を所持していた男性2人が、店長に売上金を渡すよう脅した。店長はレジ締め作業が終わったのもうアクセスができないと伝えたところ、発砲され、3発命中する重傷を負った。その後犯人はレジの売上金を奪い逃走した。